

2021年 月 日

京都市長 門川 大作 様

コロナ禍から市民のいのち・暮らし・生業を守るために
あらゆる手立てを尽くしてください。

要請趣旨

コロナ禍で市民のいのち・暮らし・生業が危うくなっています。市内各地で取り組まれている食材提供活動や生活相談会では、多くの青年・学生・非正規、女性労働者、中小業者の方々から「アルバイトがなくなり食べるものに困窮している」「パートの時間が削られ、生計が維持できない」「お店の売上げが激減した」等々切実な声が寄せられています。

今こそ、いのち・暮らし・雇用を守り、自営業者が廃業しなくてもすむ施策の具体化が急務となっています。北陸新幹線など不要不急の公共工事は中止し、すべての市民に寄り添い、コロナ禍から市民生活を守る自治体としての役割を果たすことを求めます。

要請項目

1. 医療機関・介護施設・障害者施設・保育所・学校等での定期的なPCR検査を公費で行うこと。必要な地域・職場での社会的検査を実施すること。
2. 医療機関・介護施設・保健所（保健福祉センター）の体制確保、医療機関、介護施設・障害者施設への減収補てんなど、コロナウイルス感染症対策を強化すること。
3. 中小事業者に対する施策を拡充し、青年・学生・非正規、女性労働者など生活困窮となった方々への必要な支援を行うこと。
4. 「行財政改革」の名のもとに、「審議会」で名指しされた敬老乗車証制度、学童う歯対策、国民健康保険制度、民間保育園補助金制度、私学高校教育助成制度をはじめ、市民サービス低下となる施策の見直しを行わないこと。

氏 名	住 所

私のひとこと

※いただいた署名は、この京都市長宛署名以外の目的には使用しません。
取り扱い団体：「コロナ禍」からいのちと暮らし・生業を守る府市民総行動実行委員会